

川崎障害者就業・生活支援センター／中部就労援助センター
令和 5 年度事業報告

● 令和年5度事業目標

重点目標として、就労についての一次相談機能やコーディネート機能がセンターの役割であることを地域に向けて継続的に発信し、相談者の多様な就労相談と幅広い障害内容について適切に対応すること、障害者雇用率や社会保障・福祉施策などを十分に理解し、働き方の変化や社会情勢を把握して就労支援を行うことの二つを掲げ、次の方針をもとに事業を行った。

- 求職者支援において、一次相談段階でのニーズ把握と、課題整理や支援の組み立てを方向性シート活用によって行い、職員全体で情報共有して支援にあたります。定着支援では、企業と就労者自身の取り組みによって就労定着することを目指し、企業や就労支援機関に対してナチュラルサポートの考え方を啓発していく。
- 神奈川県や川崎市の労働部局と連携し、中小企業への障害者雇用拡大サポートを行う。川崎市経済労働局が開催する街頭相談会に協力することで、地域の相談ニーズを幅広く受ける機会を持つ。
- 生活困窮者のうち障害が窺われる方への就労支援を促進するとともに、県内の障害者就業・生活支援センター及び生活困窮支援の各機関と連携して情報共有を行う。
- 地域の就労支援機関のコーディネーター役としてネットワーク会議や研修会などを実施し、市内3援助センターや関係機関との連携強化を図ります。また、地域の生活支援や様々な専門機関に対して就労支援ノウハウを提供し、地域の就労支援力向上に努める。
- 法人内の障害福祉サービス事業所や横浜南部・湘南の各センターと情報や支援ノウハウを共有して連携する。また、就労支援へのニーズが多様になってきていることから、川崎市内3援助センターの在り方について検討を行っていく。

(1) 相談・支援の実施

新規登録や新規就労者の半数以上は精神障害者の方だが、これまであまり相談のなかった高齢の身体障害者の方や高齢者支援機関からの相談対応が増えてきている。高年齢の受け入れ可能な求人情報は少ないため就労に時間がかかっている実情がある。

障害の種別に関わらず、なかなか就労につながらない・すぐの就労が難しい(就労準備性が整っていない)登録者が多いため、体験実習の積み重ねや福祉サービスの利用などの働きかけを行って就労に向けてステップアップすることを促進した。就労準備性に課題があると支援のマンパワーがより必要となるが、センターが行う適性把握や面談を通して就労準備性を確認し、川崎市独自の施策である短時間雇用推進事業を活用しながら、雇用率算定以外の求人にも積極的に対応した。そのほかに、生活困窮者における障害者支援として川崎市内の専門支援機関と連携し、ケース会議や勉強会を重ねながら協力して就労支援を実施した。

働き方や個々の支援ニーズが多様になったことで、定着支援のニーズも幅が広がり、センター単独で対応しきれない事象も出てきている。これまでは地域の関係機関と連携しながら対処にあたってきたが、登録者も多くなっていることから、本人と企業自身で困りごとを解決する力を身に付けていくナチュラルサポートに理解が必要と考え、職場訪問や企業支援のなかで啓発に取り組んだ。

【実績】

① 令和5年度新規登録者数

求職登録者	定着登録者
-------	-------

108 名	35 名
-------	------

② 令和 5 年度新規就労者数 : 92 名

勤務時間、障害種別内訳	新規 就職者数	内 訳			
		知的	身体	精神	その他
勤務時間（週 30 時間以上）	51	20	2	29	0
勤務時間（週 30 未満 20 以上）	12	4	0	8	0
勤務時間（週 20 時間未満）	29	5	2	19	3
新規就職者合計	92	29	4	56	3

・前年度就労者の 1 年経過後定着率 86.9%

③ 相談支援件数 14,412 件

④ 職場実習等実施状況 : 実施数 513 件

	実施 日数	参加 延人数	参加 実人数
①採用前実習	50	50	21
②ステップ アップ 事業による実習	222	230	19
③職場実習事業による実習	143	213	37
④ビ・フルデザイン就労体験	8	20	16
⑤上記以外の実習	0	0	0
合計	423 日	513	93 人

⑤ 事業主に対する支援

- ・支援対象事業所数 : 394 事業所
- ・相談・支援件数 : 3,895 件

(2) 地域の就労支援力底上げのためのネットワーク・セミナー等の実施

地域の就労支援機関や相談機関とのネットワークを構築し連携を強化するための連絡会、関係機関向けに職員が講師となって実施する就労支援に関するセミナーを実施した。また、企業支援として企業間の交流によって障害者雇用促進となるようなセミナーを行った。

①川崎中部地区就労支援ネットワーク会議

- ・第1回5月18日(木) ユニオンビルセミナールームA
 テーマ：合同説明会打ち合わせ、基幹相談等についての説明(川崎市中部基幹相談支援センター職員より)、意見交換
 参加者：就労移行支援事業所 32 名
 - ・第2回7月13日(木) ユニオンビルセミナールームA
 テーマ：就労移行支援事業所の現状と課題、利用期間終了後の進路について意見交換
 参加者：就労移行支援事業所 24 名
 - ・第3回9月28日(木) ユニオンビルセミナールームA
 テーマ：合同説明会打ち合わせ
 参加者：就労移行支援事業所 12 名
 - ・第4回11月16日(木) ユニオンビルセミナールームA
 テーマ：就労移行支援事業所合同説明会(事業所説明、個別ブースでの相談)実施、企業講座(みずほビジネスチャレンジドより企業紹介と障害者雇用状況説明)
 参加者：障害当事者と関係機関 88 名
 - ・第5回1月18日(木) ユニオンビルセミナールームA
 テーマ：就労移行支援事業所合同説明会振り返りと今後の方針確認
 参加者：就労移行支援事業所 9 名
- ②困窮と障害の支援ネットワーク会議 川崎市生活困窮者支援ネットワークとの共催
 川崎市内における生活困窮者支援機関との連携促進のため、相互理解と情報共有を目的として開催した。
- ・第1回9月21日(木) 川崎フロンティアビル会議室5
 テーマ：事例で伝える「得意・不得意」だい JOB センター編 参加者:29 名
 - ・第2回12月12日(火) ユニオンビルセミナールームA
 テーマ：事例で伝える「得意・不得意」居場所支援ってなに？ブリュッケ編
 参加者:29 名
- ③企業交流会「ともに働く」 神奈川県労働部雇用労政課、ハローワークとの共催
 10月27日(金) 対面と配信のハイブリッド開催 川崎市産業振興会館9階
 内容：障害者雇用促進に向けた企業交流会
 就労援助センター説明、企業による雇用事例紹介(東急百貨店)、助成金や雇用率についての説明、グループワークによる交流
 参加者 38 名
- ④川崎障害者就業・生活支援センター連絡会
 11月22日(水) ユニオンビルセミナールームA 参加者 23 名
 内容：センターの登録者状況、長期間に及ぶ支援、自立訓練事業について、川崎市短時間雇用について

(3) 職場定着及び就労促進に係る効果的な支援メニューの実施

①在職者交流活動

在職中の対象障害者を対象に、グループワーク等で職場での悩み等を対面して話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善対応を行うことで職場定着を促進した。

a. 「睡眠セミナー」 6月3日（土）場所：ユニオンビルセミナールーム B・C

内容：東洋羽毛工業(株)より講師を招き、質のよい睡眠について講義 参加者：16名

b. 「体力づくり講座」 7月1日（土）場所：ユニオンビルセミナールーム A

内容：中原区役所まちづくり推進部地域振興課とスポーツ推進委員に協力してもらい、体力づくり講座と簡単な屋内スポーツを行った

参加者：35名

c. 「鉄道好き集まれ」 8月5日（土）場所：ユニオンビルセミナールーム A

内容：鉄道という共通趣味をテーマに交流会 参加者 29名

d. 「同窓会・勤続年表彰」 令和6年3月8日（金）場所：ユニオンビルルーム A

内容：就労者の勤続年数表彰式 参加者：38名

②ピアサポート

求職者に対して就労している当事者が講師役となり、働きたい方へのアドバイスや体験談によって就労意欲や準備性を高めるためのピアサポート活動を行った。

a. 求職者向けグループワーク「就労のカセセミナー」

9月27日（水）14：00～15：30 ユニオンビルセミナールーム B・C

テーマ：自分の就職と将来について考えてみよう 参加者：12名

発表者：在職5年目の飯森氏、在職5年目の手塚氏、在職1年目の山口氏

b. 企業見学会

・富士通ハーモニー : 11月6日（月） 参加者：8名

・リゾートトラスト： 11月9日（木） 参加者：7名

③セミナーの開催

すぐの就労が難しい層の相談が多くみられることから、就労だけではなく相談・利用できる福祉機関を知ってもらう機会としてセミナーを実施した。

a. 求職者向け「働く準備セミナー～地域資源を知ろう～」

6月22日（木） 場所：ユニオンビルセミナールーム A 参加者：24名

内容：地域資源の紹介と個別相談

発表者：トゥーランプラン宮前(地域活動支援センター)

みぞのくちめだか販売所(B型事業所)

エンラボカレッジセンター南(自立訓練事業所)

企業応援センターかわさき

④センターの事業報告とともに就労者保護者向けセミナー開催

7月6日（木）14：00～15：30 場所：ユニオンビルセミナールーム A

内容：2022年度のセンター活動報告、講義「親亡き後の生活～社会資源の活用～」

講師：中部基幹相談支援センター松下氏

参加者：129名

(4) 障害者就業支援アドバイザーの活用

伊藤 絵美氏（洗足ストレスコーピング・サポートオフィス所長、博士（社会学）公認心理師、臨床心理師、精神保健福祉士）より登録者の対応について、個別事例の対応方法について助言を受ける機会を持った（2回実施）。

(5) 講師派遣やファシリテータ参加

- ① 労使セミナー 7月12日(水) ワークピア 主催：電機連合神奈川地協

内容：障害者雇用相談事例の紹介の講義

対象者：労働組合役員、会社人事総務関係者

- ② 川崎市障害者支援係長及び精神保健係長合同会議

8月18日(金) オンライン参加 主催：川崎市

内容：就労援助センターについて説明

対象者：各区・地区の障害者支援係長及び精神保健係長

- ③ 特別支援学校就労セミナー

8月3日(木) 中原市民会館 主催：川崎市、川崎市教育委員会

内容：川崎市内支援学校3年生保護者向け講義とグループワークファシリテータ参加

対象者：支援学校高等部3年生とその保護者

- ④ 神奈川県障がい者就労支援力向上研修 主催：神奈川県障害者雇用促進センター

・8月31日(木) Lプラザ

内容：就労支援機関対象の事例検討会へのファシリテータ参加

・9月6日(水) Lプラザ

内容：川崎市短時間雇用における企業と就労支援機関の連携例紹介の講義

対象者：企業担当者、就労支援機関

- ⑤ 高次脳機能障害者当事者・家族の会 学習会 主催：ナナの会

9月27日(水) 高津市民館

内容：センターの機能説明と事例紹介の講義

対象者：高次脳機能障害の当事者と家族

- ⑥ 就業支援課題別セミナー 主催：障害者職業総合センター

12月6日(水) 障害者職業総合センター

内容：短時間就労に関する支援について講義

対象者：労働・福祉・医療・保健・教育等の分野で就業支援の実務経験を有する担当者

(6) 職員参加研修

No.	研修名(主催)	日程	参加人数
①	中部就労援助センター内部研修	5月29日	13名
②	法人3センター事例検討会(湘南、川崎、横浜南部)	6月・9月・12月	各回2～3名
③	地域資源を知ろう(中部就労援助センター)	6月22日	2名
④	神奈川県内就労支援機関の取り組みについて(SEJA)	6月29日	1名
⑤	令和5年障害者就業・生活支援センター就業支援担当研修(職業総合センター)	7月11日～7月14日	1名
⑥	全国ロービジョンセミナー(日本視覚障害者職能開発センター)	7月29日	1名
⑦	全国ロービジョンセミナー(日本視覚障害者職能開発センター)	7月29日	1名
⑧	法人全体研修・事業報告会(電機神奈川福祉センター)	8月1日	1名
⑨	ジョブコーチ養成研修(JC-NET)	8月19日、20日 9月8日～9月11日	1名
⑩	神奈川県内就業・生活支援センター連絡会(県央障害者就業・生活支援センター)	9月1日	1名
⑪	障害者就労支援力向上研修(神奈川県雇用促進センター)	9月6日	1名
⑫	視覚障害・就労支援者講習(日本視覚障害者職能開発センター)	10月12日～13日	1名
⑬	精神障害を学ぶ(社会福祉法人横浜市社会福祉協議会)	10月17日	1名
⑭	発達障害支援力向上研修(川崎市発達相談支援センター)	10月20日	1名
⑮	法人内他部署(ぽこ・あ・ぽこ)派遣研修	11月6日～11月10日	1名
⑯	支援が変わる面接技術(ウィリング横浜)	11月7日	1名

⑰	対人援助基礎研修(社会福祉法人横浜市社会福祉協議会)	11月21日	1名
⑱	令和5年度障害者就業・生活支援センター 就業支援担当者研修(職業総合センター)	11月28日～12月1日	2名
⑲	川崎4センター合同研修(川崎南部、中部、百合 丘、企業応援センター)	12月15日	13名

(7) 厚生労働省・神奈川労働局経験交流会等の出席

① 障害者就業・生活支援センタースタッフ別経験交流会

主催：労働局 11月14日（ZOOM開催）

内容：それぞれセンターの取り組みの共有と、意見交換等を行った。

参加者：2名（1名オブザーバー参加）

② 都道府県連絡会議に出席

主催：神奈川労働局 10月11日 神奈川労働局会議室

内容：各センターから状況報告と神奈川県内の障害者雇用の情勢について

参加者：1名